展示関連講座等

企画展「震災をふりかえる」関連行事
・2021年4月24日（土）13:30～15:00
講演会　「2020年7月豪雨で被災した水損資料のレスキュー活動について」
（講師：熊本県教育庁教育総務局 文化課 学芸員　川路祥隆氏）
・2021年4月 25日（日）13:30～16:45
熊本地震シンポジウム
～5年間でわかったこと、そしてこれからの防災・減災～
（会場：熊本城ホール　シビックホール）
※いずれも申込は往復はがきもしくはHPで 4月12日必着

企画展「能楽伝承」関連講座
・2022年1月15日（土）13時半～15時
講演会（講師：調整中）

上記の講座・企画は毎回申込方法が異なりますので、詳しくは直近の市政だよりや当館HPにてご確認ください。

ミュージアムトーク　※申込不要
学芸員による展示解説です。実施についての詳細な日時は開催月に当館HP等にてお知らせいたします。

子ども科学・ものづくり教室



小中学生を中心に『不思議の種まき』をします。実験や科学工作などの直接体験を通して、その楽しさを伝えながら身の回りの様々な事象に対する興味・関心を高めていきたいと願っています。
ぜひ、ご参加ください！！

毎回テーマによって申込方法が異なりますので、詳しくは直近の市政だよりや当館HPにてご確認ください。

熊本博物館
KUMAMOTO CITY MUSEUM

2021年度 通年講座・教室一覧 展示会スケジュール

各講座・教室の受講の際には博物館入場料が必要です。
通年で受講される方は年間入場券をお勧めいたします。

通年講座の申込方法

・往復はがきの場合

往復はがきに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて熊本博物館まで郵送（〒860-0007　中央区古京町3-2）

・ホームページの場合

博物館ホームページ（https://kumamoto-city-museum.jp/）の申込フォームに必要事項を入力
場所：トップ画面＞講座・教室＞お申し込み

定員（各講座40名）を超えた場合、抽選にて決定いたします。
締切日以降の申し込みについては直接博物館（096-324-3500）にお尋ねください。
※講座の内容や定員の空き状況次第では受け入れ可能な場合があります。

2021年度　開講 通年講座

考古学専門講座

熊本の縄文時代を探る室内講座と現地巡りです
月末の木曜日を中心に実施（年間１１回）
初回 ５月２７日（木）１０：００～　講堂・屋外
申込締切日　２０２１年５月１１日(火)（必着）

保存科学講座

資料保存に関する室内講座です
奇数月の第２土曜日午前を中心に実施（年間６回）
初回 ５月８日（土）１０：３０～　講堂
申込締切日　２０２１年４月２６日(月)（必着）

動物学講座

身近な生きものに関する室内講座と観察会です
奇数月の第３土曜日午前を中心に実施（年間６回）
初回 ５月１５日（土）１０：００～　講堂
申込締切日　２０２１年５月７日(金)（必着）

植物学講座

身近な植物に関する室内講座と野外観察会です
偶数月の第４木曜日を中心に実施（４～１２月・年間５回）
初回：４月２２日（木）１０：００～１２：００　講堂
定員２０名
申込締切日　２０２１年４月１２日（月）（必着）

地質学講座

化石や岩石、熊本の大地に関する室内講座です
偶数月の第３日曜日午後を中心に実施（年間５回）
６月１３日（日）初回１４：００～　実験・工作室
※初回は第２日曜日です
申込締切日　２０２１年６月７日（月）（必着）

⇦通年講座の申込方法は紙面中央をお読みください。
２回目以降の開催日時等の詳細は講座中や電話にてお知らせいたします。
各講座参加無料ですが、受講の際には博物館入場料が必要です。
通年で受講される方は年間入場券をお勧めいたします。

熊本博物館
KUMAMOTO CITY MUSEUM

2021年度　展示会スケジュール

2021年4月時点での展示予定です。
都合によりタイトルや会期など
一部変更する場合があります。

①企画展
震災をふりかえる
3月20日(土)～5月9日(日)

2021年4月、熊本地震発生から5年が経過します。本展では、熊本地震発生後の当館の取組みや地震の痕跡が残る資料、県内各地の断層調査で得られた剥ぎ取り標本をご紹介しながら、今一度5年前の地震を振り返ります。



②夏季特別展
銀河鉄道の夜　－KAGAYA 星空の世界展
7月17日(土)～9月5日(日)

国内をはじめ欧米・アジアの累計100館を超えるプラネタリウムで上映され、観客動員数100万人突破という金字塔を打ち立てたプラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」。その「銀河鉄道の夜」をテーマに番組を手がけた、KAGAYA氏のデジタルアート・星景写真を展示します。
また、会期中にはプラネタリウムにて「銀河鉄道の夜」を投映します。
（本展は博物館入場料のほかに特別展覧会観覧料が別途必要です）



銀河の果ての南極光

③秋季企画展
「未来へつなぐ植物の記録 ―令和２年７月豪雨で被災した前原勘次郎の植物標本―」
10月2日(土)～11月28日(日)

令和２年７月豪雨により浸水被害を受けた人吉城歴史館に所蔵されていた前原勘次郎氏によって収集された３万点を超える植物の押し葉標本。その貴重な標本を守るため災害発生直後から乾燥処理やクリーニングなどを行う「標本レスキュー活動」が全国の博物館や大学などで行われています。
本展では、当館が携わった標本レスキュー作業の様子や前原氏が記録した今では貴重となっている植物標本などを写真とともにご紹介いたします。



被災した植物標本

④熊本市遺跡発掘速報展
12月11日(土)～2月6日(日)

熊本市内の最新の発掘成果を展示します。
土器や石器が盛りだくさん！
特別講演会もあります。



⑤企画展
「**能楽伝承**」
～中村家文書にみる熊本の能楽
12月18日(土)～2月13日(日)

天下人・豊臣秀吉に見いだされた中村少兵衛政長は、金春流の能楽秘伝を伝授されてその名声が世に広まりました。その子の政辰は加藤・細川にわたって仕えることとなります。以来、中村家は熊本における金春流能楽の相伝者として、重要な役割を果たしました。この中村家で守られてきた古文書が、新たに熊本県指定重要文化財として指定を受けました。本企画展はこの「中村家文書」をもとに、江戸時代の熊本における能楽伝承の実態にせまります。

⑥館蔵品展
「くまはくコレクション 肥後のやきもの」
3月5日(土)～5月8日(日)

全国各地、その土地土地に根ざしたさまざまなやきものが伝わっています。熊本でも、小代焼や八代焼など多種多様なやきものが生産されてきました。当館には、県内各地で作られたやきものが多数収蔵されています。近年、専門家と共に行った館蔵品調査の成果をもとに、当館のやきものコレクションを一堂にご紹介します。



小代焼　藁灰釉四方手付水指

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別展示室1	①震災をふりかえる			②銀河鉄道の夜 KAGAYA 星空の世界展			③未来へつなぐ植物の記録			⑤能楽伝承		⑥肥後のやきもの
特別展示室2												
特別展示室3									④発掘速報展			

お問い合わせ：熊本博物館（電話番号：096-324-3500　住所：〒860-0007 熊本市中央区古京町3-2）